

小型車両系建設機械特別教育受講報告

フィールド科学系部門 生物科学班 岩崎 貞治

1. はじめに（目的等）

車両系建設機械とは、「動力を用い、かつ不特定の場所に自走できる建設機械」である。そのため整地、運搬、積込み及び掘削等、幅広い業務を支援出来る。配属先業務において、敷地の管理も含まれ遠隔地でもあるため比較的広い場所を手入れする必要があり、業務効率を上げるため受講した。

2. 期間・場所

期間 : 令和2年12月12日～13日
場所 : テクノ自動車学校（広島県安芸郡熊野町5640-1）

3. 参加者等

12名

4. 研修内容

1日目 学科 9:00～17:35
2日目 実技 9:00～16:05

5. まとめと感想

学科においては、建設機械の種類や分類、使用用途についての説明があり、そこから内部構造・外部構造、操作説明、力学・電気、関係法令を学んだ。中には既知の内容もあったが、講師の経験を交えた話により、更に理解が進んだ。

実技では、作業前点検や操作方法、操作時の確認等を学んだ。1日ではあったが何度も自分の順番が来ることで、思っていたよりも慣れ親しむことができた。

本資格は、多用途で複数の作業機械を操作できるため、各々の習熟には更なる訓練が必要になる。しかしそれぞれを操作できるようになれば、整地、掘削および運搬等が行えるため、近年頻発する土砂災害等にも対応できる。

限られた予算の中で、最大限の効果を求めるためにも、自己研鑽に励み業者委託部分を極力減らせたらと考えている。